



# 夢が丘

北小だより「夢が丘」  
令和5年11月30日  
NO.4  
上田市立丸子北小学校  
学校自己評価委員会

## 全国学力・学習状況調査の結果から

4月に6年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。本校は、国語は全国平均とほぼ同じくらい、算数は全国平均を4ポイント上回る結果となりました。

国語では、全体として「知識及び技能」にかかわる内容は正答率が低く、「思考力・判断力・表現力」にかかわる内容は正答率が高い傾向でした。特に「漢字を使って正しく書き直す」問題では、「意外(-30.8%)」「期間(-10.6%)」と誤答が多かったです。普段から文章を書くときに漢字の意味に即して使う習慣を大事にしていきたいです。



「読むこと」の領域の正答率は高かったです。授業での読んで考える学習とともに、毎朝の読書、家庭学習で音読や読解問題を続けてきたことなどが成果となっているのではないかと思います。

「書くこと」の領域の正答率は若干低かったものの、記述式で回答する問題については正答率がよかったです。条件に合うように文章で表そうとしたことがうかがえます。一方で、記述式が無回答だった割合も少し高かったです。今後も授業のふり返り等、自分の考えを文章でまとめることを積み重ねていきたいです。

算数では、正答率が低かった問題として「 $66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図をもとに商の十の位に当たる式を選ぶ(-6.8%)」「二つのグラフから、示された数字に着目して分かることを書く(-5.2%)」でした。前者については筆算の意味を説明している図と式とのつながりが理解できなかったと考えられます。後者は必要な条件を満たさずに回答したり、無回答だったりした児童が多かったです。日頃から数量関係の意味を考えたり説明したりする学習を多くしていきたいです。

C変化と関係の問題(比例や割合)については、全国平均を上回っています。授業で意味を説明する機会を設けたり、家庭学習を含めて繰り返し練習したりしてきた成果が表れているようです。



算数では、16問中11~13問正解(平均より少し上)した児童が約3分の2を占めていました。ヒストグラムで見るとこの部分の山が大きく、全体的にはおおむね理解できている様子がうかがえる一方で、7問正解した人数もやや多く、緩やかにふたつ山があるような分布になっていました。もう少し頑張れば平均値くらいまでできそうな児童も多くいるので、引き続き丁寧に学習を積み重ねていきたいです。

# 学校行事や学習の紹介

## 美しい音色に包まれた音楽会



4年ぶりに児童と来賓の方や保護者の方が一堂に会した音楽会を開催しました。これほど多くの方が体育館に集まるのを初めて目にした児童も多く、緊張した様子は見られましたが、ステージでの発表では、各学年とも今まで練習した成果を十分に発揮して、合唱では美しい歌声を披露し、合奏ではすばらしいハーモニーを奏でることができました。

音楽会という大きな行事を通して、児童がまた1つ成長しました。

## 地域の方に感謝する会

日頃から支えていただいている地域の方に感謝の気持ちをお伝えしようと、「地域の方に感謝する会」を行いました。コロナ禍で中止が続いていたので4年ぶりの開催となりました。

学校の活動は、多くの地域の方のお支えのおかげで、行うことができます。登下校の際は、多くの方が児童のために交差点や道路で見守りの活動やあいさつをしてくださっています。学習では、読み聞かせや学習のボランティアに来ていただいています。

当日は、各学年から感謝の気持ちを込めて歌の発表をしました。ご来校いただいた皆様からは、「感動したよ。」「元気をもらったよ。」などのうれしいご感想をいただきました。

地域の皆様には、今後も児童のためにご支援をよろしくお願いいたします。



## ジェンダーフリーの学習

2学期より、ジェンダーに関する学習を全学年で実施しました。道徳資料「青いラジコンカーとお人形」を用いて、男の子・女の子のイメージを出し合ったり、いろいろなおもちゃを提示したりして、「男の子っぽい」「女の子っぽい」「どちらでもない」の3つのカテゴリーに分け、友だちのジェンダー観



の違いを知るきっかけとなりました。また、「男の子は車が好き、女の子はお人形遊びが好き」という固定概念に疑問を持つ子もいました。ジェンダーは、小さい頃から刷り込まれ、思い込みとなっていきます。ジェンダーギャップ解消のため、小学1年生から計画的に学習を積み重ねて参りたいと思います。【担当:上原】

